

ヒューマンファクターズ

選 択

開講年次：2年次後期

科目区分：講義＋演習

単 位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：基本科目として学んだヒューマンファクターズ入門の理解のもとに、人間の様々な機能・能力障害等を理解するための人間工学・福祉工学的手法・技術について学ぶ。また、疑似装具体験および課題を通してさまざまなユーザに関わるモノやコトの問題点を抽出し、その改善案を検討する。

■**到達目標**：①障害者、高齢者、子どもの現状と問題点について理解する。
②各ユーザに関わるモノやコトの問題点を抽出し、その改善案を検討する。

■**担当教員**：

小宮 加容子

■**授業計画・内容**：

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 高齢者にとってのバリア「現状の問題点と対策」
- 第3回 高齢者疑似体験
- 第4回 障害者にとってのバリア「現状の問題点と対策」
- 第5回 視覚障害者体験
- 第6回 車いす体験
- 第7回 子どもにとってのバリア「現状の問題点と対策」
- 第8回 キッズデザインの紹介
- 第9回 課題製作1（現状調査）
- 第10回 課題製作2（グループ討論）
- 第11回 課題製作3（デザインコンセプト決定、アイデア展開）
- 第12回 課題製作4（デザインモデル製作）
- 第13回 課題製作5（デザインモデル製作）
- 第14回 プレゼンテーション準備
- 第15回 プレゼンテーション

■**教科書**：作成資料を適宜配布する

■**参考文献**：適宜紹介する

■**成績評価基準と方法**：授業態度（40%程度）、課題発表（20%程度）、課題成果（40%程度）を総合的に判断し成績を判定する。

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②		
授業態度	○	○	積極的な姿勢	40
発表	○	○	明快さ、説得力	20
課題・作品	○	○	完成度、新規性	40
出席			2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：ヒューマンファクターズ入門、ユニバーサルデザイン論、ヒューマンケア機器デザイン

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：ヒューマンファクターズ入門につづき、より理解を深めるために体験的な授業内容を取り入れています。